

## 2022年度の考査の実施状況

2022年度は、<表1>にあるとおり、6社に対して通常考査（実地考査：5社、書類考査：1社）を実施しました。

考査結果での指摘事項はありませんでした。不備事項は1社で3件ありました（詳細は<表2>参照）。なお、不備事項が認められた1社に対し、速やかな是正を求めました。

### （注）指摘事項及び不備事項について

考査の結果、問題がある場合にはその程度に応じて、指摘事項または不備事項として、改善等を求めます。

指摘事項は、金商法上の禁止行為等には該当しないものの、顧客保護、取引の公正、金商業者の信用の毀損が懸念され、直ちに是正を促すべき事案をいいます。

不備事項は、指摘事項には該当しないものの、内部管理体制の整備の状況、規程・マニュアルの整備の状況が十分でないなど、速やかな改善を要する事案をいいます。

近年の考査における主な指摘事項及び不備事項、並びに指摘事項及び不備事項には該当しないものの改善を要請した事項の具体的内容については、『指摘事例』をご参照ください。

### <表1> 考査実施先：6社

#### 考査の種類・実施方法別

通常考査	6社
うち実地考査	5社
うち書類考査	1社

#### 取引資格別

金利先物等取引参加者	0社
為替証拠金取引参加者	6社
株価指数証拠金取引参加者	3社
FXクリアリング取引参加者	0社

\*複数の取引資格を保有する取引参加者があるため、取引資格別の社数合計は、考査の種類・実施方法別の社数合計と一致しません。

<表 2> 指摘事項・不備事項内容及び件数

内容	指摘事項	不備事項
広告等審査態勢	0	1
特定個人情報の管理態勢	0	1
事務リスクに係る内部管理態勢	0	1
計	0	3